

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年8月前半）

### 1. 経済

- 2014年上半期、フィンデル空港の利用者は1.14百万人（前年同期比+16.7%）で、特にイージージェット、ブエリング航空、ルクスエアー、TAPポルトガル航空にて乗客数が増加。また、航空輸送量は345,577トン（同+9%）。（2日付ヴォルト紙電子版）
- アルセロールミタル社、2014年第2四半期の総売上高は20,704百万ドル（2014年第1四半期は19,788百万ドル）、純損益は52百万ドルの黒字（同205百万ドルの赤字）。（2日付ル・コティディアン紙）
- 2014年上半期、ルクセンブルクにおける述べ宿泊者数は前年同期比+3.1%。宿泊者数全体のうち65%は商用目的。（6日付政府観光局コミュニケ）
- 2014年7月のインフレ率は年率1.0%（前月は同0.9%）。2014年のインフレ率は0.9%の予測で、次回の賃金物価スライド制の発動は付加価値税率引上げ後の2015年第1四半期となる見込み。（6日付統計局プレスリリース）

### 2. 金融

- INGルクセンブルク、2014年上半期の純利益は50百万ユーロ。預金に関しては2014年始時点から15%増加しており、融資においても同12%の増加。（9日付ル・コティディアン紙）
- 2014年第2四半期の当国保険セクター全体の保険料収入は前年同期比+37.6%。（13日付保険監督局コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。